

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」

令和 3 年度 事業計画（案）

令和3年度事業方針

- 「演劇」を「クリエイション・プログラム」の核としたプログラム構成
- 主会場「ならまちセンター」の創造発信拠点機能の強化
- 「暮らしとアート」をキーワードにした新規企画（ラーニングプログラム）の展開

事業概要

[クリエイションプログラム] (メインプログラム)

プログラムディレクター：田上豊氏

(仮称) 劇活プロジェクト／11月～12月 (予定)

コア期間を設定し、演劇創作やワークショップに市民が創造する主体として参加することで、表現・創作活動の魅力を感じるとともに、全国で活躍する劇団を招聘することで文化芸術の力で「奈良」を発信する取組み。主会場をならまちセンターとすることで、同施設の文化創造発信拠点としての機能を強化することも図る。

1. 青少年と創る演劇／12月25日(土)
2. 特別公演：青年団「忠臣蔵(武士編・OL編)」 **新規企画**／11月27日(土)・28日(日)
3. 演劇クリエイションワークショップ **新規企画**／11月～12月予定
4. フリンジ企画：同時期に文化団体が主催する連携企画

[ラーニング・プログラム]

アートによる「学び」の機会を提供。「共有空間」の獲得をテーマに3ヶ年継続してきたグリーン・マウンテン・カレッジを引き続き実施する。また、私たちの暮らし(日常・生活)とアートに関わるワークショップをならまちセンターで実施することで、地域社会におけるアートの必要性や重要性を考える機会とする。

1. グリーン・マウンテン・カレッジ(校長：小山田徹氏)
2. トークセッション、ワークショップ **新規企画**

各プログラムについて

[クリエイション・プログラム1] 青少年と創る演劇

中高生が、プロの演劇人と共に舞台作品を創りあげる演劇創作プログラム。演劇創作を通じて創造する喜びを体感し表現力を高めるとともに、ふるさと・奈良を自分の言葉で語ることができる人材育成をめざす。

開催時期：12月下旬（公演） 会場：ならまちセンター市民ホール

【予定演目】「奈良の夜の夢」 翻案台本・演出 田上豊



[クリエイション・プログラム2] 特別公演：青年団「忠臣蔵（武士編・OL編）」

日本の演劇界を牽引してきた平田オリザ氏が主宰する劇団「青年団」による特別公演を実施する。質の高い演劇作品を低価格で鑑賞できる機会を市民に提供するとともに、地域で活躍する劇団等の演劇関係者、文化芸術関係者らの活性化につなげる。

開催時期：11月27日（土）・28日（日） 会場：ならまちセンター市民ホール

演目：「忠臣蔵・武士編」「忠臣蔵・OL編」各2公演

[クリエイション・プログラム3] 演劇クリエイションワークショップ

演劇公演にあたって、劇団関係者らをはじめとする演劇人らによるワークショップ等を行う。公演に関連する企画内容とすることで、単に公演を鑑賞するのではなく、創作の魅力を感じられるプログラムになることを目的に実施する。

開催時期：11月～12月予定 会場：ならまちセンター

【ラーニング・プログラム1】 **グリーン・マウンテン・カレッジ**

グリーン・マウンテン・カレッジは、美術家の小山田徹を校長に迎え、参加者とともに対話を繰り返し広げる「学び合いの場」として平成30年度から実施しているプログラムである。

コロナ禍のなかで必要とされるのは「空気の共有」と「心の濃厚接触」であるという小山田校長のもと、これまで焚き火の周りに人々が集う方法で実施していた本企画を、今回は、小さな火を並べた会場で参加者は一定の距離をとりながら同じ空間を体感する。

ゲスト（予定）

砂連尾理（振付家・ダンサー／立教大学特任教授）

伊達伸明（美術家／京都芸術大学教授）

西川勝（臨床哲学者）

井上絵美（奈良若者サポートステーション キャリアカウンセラー）

校長：小山田徹

1961年鹿児島県生まれ、京都府在住。美術家／京都市立芸術大学美術学部教授。1984年大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。主に企画構成、舞台美術を担当し、国内外の数多くの公演に参加。1990年から、「ウィークエンドカフェ」、「コモンカフェ」、「カラス板屋」や「Bazaar Cafe」など、さまざまな友人らと造形施工集団を作り共有空間の開発を行う。

【ラーニング・プログラム2】 **トークセッション・ワークショップ**

本事業では生活に身近なところからアートに触れてもらうことで、市民が「創造する主体」となる機会を拡充する。また文化芸術分野のみならず、観光・経済・教育・スポーツ・福祉・子育てなど幅広い分野の個人や団体と連携することで、「暮らし」のなかでアートがもたらすものを体感できるようになることを図る。

【暮らしとアートワークショップ】

生活に身近な事柄をテーマに、自らが「創造する主体」としてアートに関わることを体感するワークショップ。単年度で完結するのではなく、次年度のクリエイション・プログラムへとつながるような内容とする

講師（案）：会田大也（アーティスティックディレクター／山口情報芸術センター）

【トークセッションシリーズ「アートとまちづくり」】

ならまちセンターを拠点にアートを活かしたまちづくりを考えるためにセミナーやワークショップを開催。文化芸術の専門家のみならず、様々な分野で活躍する人を講師に迎え、各分野の関係者の参加を促すことで、アートによる他分野への波及効果を狙う。

プログラムディレクターについて

クリエイション・プログラムの企画監修・指揮については、実行委員会からプログラムディレクターとして劇作家・演出家の田上豊氏を指名する。

令和 3 年度クリエイション・プログラムについては田上氏を中心に、後述の地域コーディネーター等を含めた「ワーキンググループ」において企画推進を行う。

田上豊プロフィール

劇作家・演出家。田上パル主宰。富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督。尚美学園大学非常勤講師。1983 年熊本県生まれ。桜美林大学文学部総合文化学科卒業、一般財団法人地域創造登録アーティスト。在学中に劇団「田上パル」を結成。方言を多用し、軽快なテンポと遊び心満載の演出で「揺らぐ人間像やその集団」を描き出すのを得意とする。

中高生や大学生との創作、市民劇団や公共ホール事業への書き下ろしなど、様々な形で活動を展開。創作型から体験型、育成講座まで幅広くワークショップも行う。「古都祝奈良 2019-2020」プログラムディレクター、劇団青年団演出部所属。

地域コーディネーターについて

本事業を市内外へ広く周知し、各プログラムの魅力を様々な方法で発信する広報部門の地域コーディネーターには、奈良で様々なアートイベントを主催するなど、地域における芸術普及事業、地域活性化事業、ネットワーク事業を推進する一般社団法人はなまるを指名する。

一般社団法人はなまるプロフィール

芸術をきっかけに、ひとりひとりが自分の中に「はなまる（自己肯定感）」を持ち、他社の中にある「はなまる（違い＝魅力）」を発見し、社会的価値の多様性を育み、暮らしやすい地域社会の創出を目的として活動している。また、地域社会のコミュニティが分断される現代社会において、文化芸術によって新たなコミュニティを開き、人と人が繋がる地域を創出することで地域活性化をめざす。

奈良市美術館オープンミュージアムプロジェクトの企画や「奈良・町家の芸術祭はならあと」等、地域での様々なアートイベントに携わる。本事業においては令和 2 年度の広報業務を担当する。

予算について

10,368 千円（市負担金額 10,200 千円、事業収入 168 千円）